

50年の歴史に着目した『特撮ツーリズム』の形成と形態解明

○二重作昌満[東海大学大学院文学研究科観光学専攻]・田中伸彦[東海大学観光学部]

キーワード：特撮ツーリズム 特撮 50年 形成プロセス 形態解明

1.背景

「特撮」とは、アニメや漫画と並び、我が国のサブカルチャーの一種として、国内外にファンを獲得している映像コンテンツである。「ゴジラ（1954）」に代表される、怪獣やヒーロー等が登場する非日常的な光景を創作する作品を指す「特撮」映像作品は、映画やテレビ等の映像作品として発信されるだけに留まらず、やがて作品で使用された着ぐるみや小道具の展示や実演ショーを目玉としたツーリズム現象として出現するようになった。

特撮キャラクターを用いた地域振興や単発的なキャラクターショーを筆頭とするイベントの歴史は古く、50年以上前の1965年に開催された東京都内の松屋デパート屋上にて行われたゴジラの実演ショーを皮切りに、翌年の3月2日「大怪獣ウルトラQの大行進」が同じく松屋にて開催され、番組に登場する怪獣の着ぐるみの展示が行われるなど、上記のようなツーリズム現象は特撮キャラクターを宣伝する重要なパイプとして半世紀以上に既に機能していたのである。

またその現象は国境を越え、1964年の海外旅行自由化以降、我が国の観光史において非常に深い関わりを持つハワイでも、不定期に行われる「人造人間キカイダー（1972）」のキャラクターショーの開催やウルトラマンシリーズを題材にした日本人観光客向けプログラム「ウルトラハワイ（2014）」の開催など、現象としても広がりを見せている。

このように現在に至るまでキャラクターショーや展示会等のイベント、常設施設の設置といった形で継続してきた当現象であるが、コンテンツ・ツーリズム研究の視点から、まだこれらの現象を総括する具体的な呼称名は存在しないほか、同じくコンテンツを用いたツーリズム現象であるアニメや漫画に対する差別化といった現象の解明すらも行われていない。

上記の現状を踏まえ、当研究ではこうした特撮キャラクターを用いた観光現象の事例や歴史を現地調査、資料調査による事例検証を行い、「特撮ツーリズム」と題した当現象の解明を行っていく。

2.研究の目的・対象・研究方法

当研究は、日本を代表する特撮映像作品である円谷プロの「ウルトラマンシリーズ」や東映の「仮面ライダーシリーズ」、「スーパー戦隊シリーズ」などに登場する特撮キャラクターあるいは特撮映像作品そのものがキャラクターショーや展覧会、さらに市のPR素材として観光振興に用いられている等の事例は数多く存在し、またその歴史は約50年に渡り継続しているにも関わらず、これらのツーリズム現象を定義した言葉が現在まで見当たらないことを踏まえ、特撮映像作品から派生したツーリズム現象を総括して「特撮ツーリズム」と呼称し、同じく映像作品から派生したツーリズム現象であるアニメ・ツーリズムやフィルム・ツーリズムとも異なる現象の形成プロセスの理解と形態解明を行うことを研究目的とする。

研究方法は現地調査と資料調査を行い、当ツーリズム現象の調査期間を2014年4月1日から2015年10月31日に設定した上で、上記期間中に国内外で開催された特撮キャラ

表 1. 現地調査のため訪れたイベント、常設施設一覧

特撮ツーリズム 調査対象イベント及び施設	開催地及び所在地	開催期間及び開催日
①ウルトラマンロウのサイン本お渡し&握手会	文芸書林	2014年6月28日
②怪獣絵師開田裕治と円谷特撮の世界	吉祥寺パルコ7階 特設会場	2014年7月3日～7月21日
③G博 ゴジラ東京に現る	渋谷ヒカリエ9Fヒカリエホール ホールB	2014年7月20日～7月29日
④ウルトラマンで科学する!-EXHIBITION ON ULTRAMAN-	松坂屋上野店 本館6階催事場	2014年7月23日～8月3日
⑤ウルトラマンフェスティバル2014	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2014年7月25日～8月31日
⑥ウルトラマンフェスティバル2014 レジェンド5光の国に大集結!!	ウルトラマンフェスティバル2014会場内	2014年7月30日
⑦ウルトラマンフェスティバル2014 ウルトラヒーロインとアフター6	ウルトラマンフェスティバル2014会場内	2014年8月5日
⑧大ゴジラ特撮展 ゴジラ60年激闘伝説	サンシャインワールドインポートマートビル4F Aホール2・3	2014年8月2日～8月17日
⑨「ウルトラハワイツアー	米国ハワイ州オアフ島内各地	2014年8月23日～8月28日
⑩ツーリズムEXPOジャパン	東京ビックサイト 東展示棟1～6ホール	2014年9月27日・28日
⑪TENQ×ウルトラマン企画展 宇宙怪獣から読み取るメッセージ	TENQ宇宙ミュージアム	2014年10月9日～2015年2月15日
⑫ウルトラマンギンガワールド	東京ソラマチ5F スペース634	2014年10月3日～10月14日
⑬ウルトラ秋の大作戦! ～まるごと1日ウルトラマン～	東京ドームシティ ラクーアガーデンステージ	2014年10月11日
⑭HD Remaster2.0「ウルトラセブン」～円谷特撮への誘い!～	TOHOシネマズ日本橋	2014年10月27日
⑮ウルトラハワイファイナルツアー2014	米国ハワイ州オアフ島内各地	2014年12月18日～12月22日
⑯お正月だよ! ウルトラマン全員集合!!	東京ドームシティ プリズムホール	2014年12月26日～2015年1月7日
⑰JR東日本 来たぞ我らの! ウルトラマンスタンプラリー	JR東日本各駅	2015年1月13日～2月27日
⑱JR東日本 来たぞ我らの! ウルトラマンスタンプラリー オープニングセレモニー	秋葉原駅	2015年1月13日
⑲ウルトラヒーローズ THE LIVE アクバロトルクロニクル	天王洲 銀河劇場	2015年3月27日
⑳ウルトラヒーローバトル劇場! 第23弾	銀座8丁目 博品館劇場	2015年4月4日
㉑ウルトラファミリー大集合 IN ずかがわ2015	須賀川市文化センター 大ホール	2015年4月11日
㉒スーパーフェスティバル68	科学技術館	2015年4月26日
㉓東京おもちゃショー2015	東京ビックサイト 西1～4ホール	2015年6月20日～6月21日
㉔ウルトラマン商店街誕生10周年記念イベント	ウルトラマン商店街内	2015年7月5日
㉕ウルトラマンフェスティバル2015	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2015年7月24日～8月30日
㉖ウルトラマンフェスティバル2015 アスカ&我夢・藤宮スペシャルトークショー	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2015年8月5日
㉗ウルトラマンライブ Peace of the Earth 2015-2016	神奈川県民ホール	2015年8月8日
㉘ウルトラマンフェスティバル2015 杉浦太陽スペシャルナイト	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2015年8月8日
㉙仮面ライダー×スーパー戦隊 Wヒーロー夏祭り2015	東京ドームシティ プリズムホール	2015年8月8日～8月23日
㉚円谷プロダクションクリエイティブジャム50FINAL	Tokyo'sTokyo原宿店	2015年8月22日～8月30日
㉛ポイジャーライブ inウルフェス2015	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2015年8月23日
㉜ウルトラマンフェスティバル2015 特別イベント スペシャルレジェンドナイト	池袋サンシャインシティ 文化会館4F展示ホールB	2015年8月28日
㉝スーパーフェスティバル69	科学技術館	2015年9月27日
㉞ウルトラマンXワールド IN東京ソラマチ	東京ソラマチ5F スペース634	2015年10月1日～10月12日
㉟帰ってきたウルトラマンの世界	新宿高島屋11階催事場	2015年10月15日～10月20日
㊱東映ヒーローワールド	イオンモール 錦旗新都市心ファミリーモール3階	不定休営業
㊲怪獣酒場	NOF川崎東口ビルB1階	2014年3月14日～2015年3月31日
㊳帰ってきた怪獣酒場	NOF川崎東口ビルB1階	2015年4月15日より連日営業
㊴ウルトラマン商店街	祖師谷みなみ商店街、祖師谷商店街振興組合、昇進会	連日営業
㊵福島県須賀川市	福島県須賀川市	連日営業

クターイベントや商業施設、また特撮キャラクターを用いて地域振興を行っている地域へ赴き、現地調査を行った。現地調査を行ったイベントおよび施設は表1の通りである。さらに、上記の現地調査期間以前に開催されたイベントや商業施設（1965年～2014年3月31日まで）については、文献、VHSやDVD等の映像作品、イベント開催当時配布されたチラシ等を用いて調査し、検証を行った。

3. ツーリズム現象における「特撮」の定義

「特撮」とは本来、「日常ではあり得ない映像を創作する」という映像制作者側の意向の下で生み出された一映像表現形態であり、怪獣映画やヒーロー映画に偏った表現ではない。

しかし、本研究で調査している「特撮ツーリズム」では、円谷プロの「ウルトラマンシリーズ」をはじめとするキャラクターブランドが前面に押し出され、さらに「特撮」とは直接関わりのないアニメ作品や漫画作品等もイベントに導入され、様々なメディア媒体で活躍する一キャラクターを総括的に取り上げる形で特撮ツーリズム現象が成立している事例も数多く確認できたことから、これら的事象に対応するため「特撮」という言葉を再定義することが必要不可欠となった。

そこで、構成要素を新たに以下のようにまとめた。

- ①着ぐるみキャラクター（ヒーロー、怪獣、怪人、ロボット等）
- ②クロスメディア（アニメ、CGアニメ、イベントオリジナル等の特撮に関連する作品）
- ③舞台（ミニチュア、屋外ロケ地、制作スタジオ）
- ④特殊アイテム（光線銃、隊員服等衣装）
- ⑤メカニック（戦闘機等模型、スポンサーと提携した専用車など）
- ⑥技術(SFX)
- ⑦特技監督（「特撮の神様」と呼ばれる円谷英二を筆頭とする特撮映像作品の技術監督）
- ⑧キャスティング（特撮映像作品の出演者等）

上記 8 つの構成要素から特撮ツーリズムにおける「特撮」は定義されるものとした。

4.特撮ツーリズムの 50 年の歴史

①1960 年代：

特撮ツーリズムが現象として現れ始めたのは約 50 年以上前に遡り、特撮映像作品に登場する怪獣の着ぐるみを用いた怪獣ショーの始まりは 1965 年に東京・松屋デパート屋上で開催されたゴジラの実演ショーとされ、怪獣の着ぐるみ展示は 1966 年 3 月 2 日から松屋にて開催された「大怪獣ウルトラ Q の大行進」が初めてとされている。この現象が登場して間もない 1960 年代当初は上記のような展示中心の単発的なイベントのみであった。

②1970 年代：

1970 年代では特撮キャラクターを目玉とするイベントはすっかり子どもたちの間に定着し、特撮キャラクターのショーを行うための常設施設が設置された。「ウルトラマンタロウ（1973）」放映時期に突入するとステージショーが確立され、東京近郊の向ヶ丘遊園やよみうりランドでは円谷キャラクターのイベントステージが半ば常設化したほか、東映の仮面ライダーシリーズにおいても豊島園、長崎屋屋上などから仮面ライダーショーが行われ反響を呼ぶようになり、やがては「後樂園ゆうえんち野外劇場」において定期的にショーが行われるようになり、ショーは 1 日 7 回、会場には 4 千人の観客が来訪した。

③1980 年代-1990 年代：

1980 年代から 1990 年代にかけては、毎年恒例イベントの開催やキャラクターショーの常設施設化がより精力的に行われるようになり、ウルトラマンシリーズを取り挙げた「ウルトラマンフェスティバル」は 1989 年に池袋サンシャインシティ文化会館 4 階にて初開催され、1989 年から 2014 年までの開催で約 430 万人の来場者を記録し、2015 年にはウルトラマンフェスティバル 25 回目の開催を迎えた。

また 1970 年代に仮面ライダーシリーズのショーが行われてきた後樂園では、同じく東映作品である「秘密戦隊ゴレンジャー（1975）」の放映開始と共に、仮面ライダーシリーズからスーパー戦隊シリーズを中心にしたショーへと移行し、シリーズ第 16 作品「恐竜戦隊ジュウレンジャー（1992）」のショーにおいて作品の出演俳優がサプライズでショーに登場したのを皮切りに、次回作の「五星戦隊ダイレンジャー（1993）」には変身前の 5 人のメンバーが秋公演に出演するようになった。これ以降も毎年作品のタイトルを変更する形でスーパー戦隊シリーズのショーが開催され、シリーズ第 33 作品「侍戦隊シンケンジャー」放映期間中の 2009 年の 4 月には東京ドームシティ初の室内劇場である「THEATRE G - ROSSO」が開設され、これまで「後樂園ゆうえんち野外劇場」また「スカイシアター」で催されてきたスーパー戦隊のショーは、ここを拠点に行われるようにな

り、現在も当施設でスーパー戦隊のショーが開催されている。

④2000年代：

2000年代に突入すると、特撮キャラクターを用いた地域おこしを行う事例が国内で点々と確認できるようになり、仮面ライダーシリーズの原作者である石ノ森章太郎の故郷である宮城県登米市には、2000年7月20日に石ノ森章太郎の生い立ちや同氏の作品について学ぶことができる「石ノ森章太郎ふるさと記念館」が開館し、また宮城県石巻市においても仮面ライダーや人造人間キカイダーなど同氏が創作したキャラクターをフィーチャーした「石ノ森萬画館」が2001年7月23日に開館した。

円谷プロのウルトラマンシリーズにおいても2005年4月3日に円谷プロダクション本社の社屋が存在していることから、「ウルトラマン発祥の地」を掲げ、小田急線祖師ヶ谷大蔵を囲う「祖師谷みなみ商店街」「祖師谷商店街振興組合」「昇進会」の3商店街の総称として「ウルトラマン商店街」が誕生した。

⑤2010年代：

2010年代に入ると、2013年12月20日にイオンモール幕張新都心ファミリーモール3階に常設施設として「東映ヒーローワールド」がオープンし、また翌年の2014年3月14日にはNOF川崎東口ビルB1階に円谷プロの怪獣達が贈る「永遠の少年たち」のオアシスというコンセプトの「怪獣酒場」が1年間の期間限定で催され、2015年3月31日に閉店したものの同年4月15日に「帰ってきた怪獣酒場」と改名、常設店舗として再オープンした。

以上のように、約50年もの間に一観光現象として持続してきた「特撮ツーリズム」は、多様性に富むようになっていった。

5. 研究の現状と課題

国内で50年に渡り継続されてきた特撮ツーリズムは、キャラクターショーや握手会などのイベントが単発的に終了する一方で、毎年恒例行事として継続的に開催されるイベントも存在し、それが四半世紀以上続く事例も確認できた。しかしイベントを持続させるには、そのイベントが取り扱う特撮キャラクターもまた同時に持続（シリーズ化）する程のキャラクターブランド力（認知度）を有していなければならないことも判明した。

上記のような映像作品と連動した観光現象の継続は、アニメをはじめとする他のコンテンツ・ツーリズムにもあてはまる現象ではあるものの、アニメ・ツーリズムが映像作品に登場した二次元キャラクターを再現した着ぐるみに代表される「模倣品」と接触するのが特徴であるのに対し、特撮ツーリズム現象における特撮映像作品に登場した（実際に撮影で使用された）「本物」と接触できるという点は特撮ツーリズム現象特有の性質ともいえる。

今後、上記のような他のコンテンツ・ツーリズムに対する特撮ツーリズム現象の独自性をより明らかにしていくことが今後の課題である。

6. 参考文献

菅家洋也(2014)「講談社MOOK 円谷ヒーロー ウルトラ怪獣全史」講談社 pp.67,80

清水保雅(2011)「仮面ライダーをつくった男たち1971-2011」講談社 pp.107-108

長澤博文 今田智司(ノトーリアス)(2012)「スーパー戦隊の常識 ド派手に行くぜ レジェンド戦隊篇」双葉社 pp.161